

サルの苑タイムズ

第1回塗り絵コンテスト 参加者を表彰 (優秀賞9名、奨励賞10名)



(施設長より優秀賞を代表授与)

第一回塗り絵コンテストの参加者に対し、このほど表彰状をお渡しし、皆様の作品とその労を讃えました。(写真)

表彰では、優秀賞に9名、奨励賞に10名が選ばれ、代表としてCユニット・福島美和子様、反町ナヲ江様に加藤施設長よりねぎらいの言葉とともに表彰状が贈られました。(参加作品は三面に掲載)



令和2年7月15日発行
第70号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健全会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

職員インタビュー (竹田聡美さん)

「私もがんばってます」
◆竹田さんはユニットリーダーという責任職を担いながら、一号館B・Cユニットの介護員として活躍しています。日々、介護士として仕事に取り組み中での率直な気持ちを聞かせて下さい。

苑内スポット
「七夕行事」
各ユニットの七夕行事では「七夕行事」を行い、短冊などを飾り季節感を楽しめました。(写真)



◆利用者様の立場になり安心して頂けるような支援をする、ということに念頭に置いています。たとえ何があっても、そのことを日々忘れて実行していきたいです。それと、自分が笑顔でいる事も大切にしています。心に余裕が持てる、暖かい支援に繋がると思っています。

◆「新型コロナウイルス」の感染拡大が首都圏を中心に続いており、第二波も懸念されています。竹田さんは苑内・感染症対策委員会の責任者でもありますが、職員としてどんな思いで「コロナ禍」に対処していますか。



◆高崎花の苑では、ワークライフバランスの推進に取り組んでいます。竹田さんとしての考え、そして余暇の過ごし方を教えてください。

◆心に余裕を持って仕事に励むためにも大切なことだと思います。私の趣味はゴルフで、コース

を廻ることが楽しみの一つです。今は練習所通いのみですが、それと、健康であるためには、よく食べ、よく眠り、よく笑うことが大切ですね！

◆竹田さんは高崎花の苑「採用活動委員会」のメンバーですが、これから介護士を目指す方たちに向け一言エールをお願いします。

◆介護は人の心に触れるすばらしい仕事です。初めは分からない事ばかりで不安だと思えますが、何でも興味を持ち、質問し、学んでいって下さい。人の気持ちを考えられる素敵介護士さんになってほしいです。

「花の苑タイムズ」創刊70号記念

●「花の苑タイムズ」は今年、創刊七十号という佳節を刻むことができました。この間、陰に陽に支えて下さった関係者の皆様にまざまざ感謝申し上げます。●「花タイ」は創刊以来、「地域交流紙」を指標とし、紙面コンセプトとしてきました。が、「コロナ禍」でこれまで果たしてきた地域との交流が断たれたことにより、紙面作成に大きく影響を受けています。●しかし私たちが、こうした中でこそ、創刊時にメンバー間で交わした原点「継続」することの意義があるを再び確認し、ここに「創刊七十号の歩み」を振り返りながら、新たなスタートを期したいと思えます。●これからも、皆さまのご理解、ご協力を切にお願い致します。(高崎花の苑広報委員会)

- 「花タイ」70号の歩み (平成26年10月発行) (主な紙面内容)
 - ※交流イベントで高崎アコーディオンサークル他三組が来苑し演奏会。
 - ※「すこやか生活日誌」連載開始。以後、44号まで続く。
 - (当時の状況) ※施設開設後、半年が経過(1号館29床、シヨート10床)
 - ※週末の「シネマ映画教室」が定着化。
- 「花タイ」(以後略称) 第十号 (平成27年7月発行) (主な紙面内容)
 - ※二号館上棟式を挙行。
 - ※交流イベントにアジサイクラブなど3グループが来苑。
 - (当時の状況) ※同年9月に二号館がオープン。
 - ※外出行事が盛ん。(想い出の場所探訪記など連載)
- 「花タイ」第二十号 (平成28年5月発行) (主な紙面内容)
 - ※創刊20号広報委員会メッセージ。
 - ※法人理事が祝文を寄稿
 - (当時の状況) ※事業拡大に伴い、人材育成の取り組み本格化。
- 「花タイ」第三十号 (平成29年3月発行) (主な紙面内容)
 - ※花の苑三号館が完成。
 - ※法人高橋理事(前施設長)が記念祝文を寄稿。
 - ※加藤施設長が挨拶文。(当時の状況) ※「地域交流作品展」を一号館に常設し、地域住民の絵画等を展示。
- 「花タイ」第四十号 (平成30年1月発行) (主な紙面内容)
 - ※平成30年がスタート(初日の出写真掲載)
 - ※高崎市ボランティア顕彰に花の苑が推薦されたみやまハーモニカクラブに決定。
 - (当時の状況) ※各種の地域交流が活発に動き、広報「花タイ」が地域交流紙として定
- 「花タイ」第五十号 (平成30年11月発行) (主な紙面内容)
 - ※新高尾地区文化祭にご利用者らが参加。
 - ※発行50号を記念し、ご利用者ご家族から記念メッセージ文。
 - (当時の状況)

50号が広報コンテストで入賞 (県老協平成31年度)



(佳作入賞した「花タイ」50号の紙面)

◆50号紙面が平成31年度県老協広報コンテストで佳作入賞。(写真)

※法人・安藤義孝理事長が秋の叙勲で「瑞宝小授章」を受章。

「花タイ」第六十号 (令和元年9月発行) (主な紙面内容)

- ※館内に歌声響く！(グループ・マイアーツなど交流イベントに4組来苑)
- (当時の状況) ※「苑内スポット」「ユニット」たよりがご利用者ご家族から好評。
- ※高崎市に大雨特別警報(台風19号)施設内被害なし。

◆心に余裕を持って仕事に励むためにも大切なことだと思います。私の趣味はゴルフで、コース

を廻ることが楽しみの一つです。今は練習所通いのみですが、それと、健康であるためには、よく食べ、よく眠り、よく笑うことが大切ですね！

雑感手帖

加藤和昭

古代ギリシャの英雄ヘラクレスは岐路に立ち、安逸で快樂に満ちた道か、困難を伴うけれども真の栄光に続く美徳の道か、どちらを選択するかを迷った。後者の道を選んだ。このエピソードを踏まえ「ヘラクレスの選択」を行う機会を得ます。

施設で働く職員たちは、さまざまな人間関係の中で自分の意向を通せぬまま、逃げずに現実に向き合うことで「ヘラクレスの選択」を行う機会を得ます。

コロナの影響で危機意識を高め、細やかな対応が必要であり、職員も大変です。そんな中でも人間関係が上手にいけば、概ねのことは乗り越えていけます。

今はちようど職員面接の時期でして、私は一人一人の声に耳を傾けながら、ケースによっては本人が自らの意志で勇気ある選択を行うよう言葉を並び、時に励まします。

結局、どんな道を選ぶのかは自分次第。私は各々が選ぶ道を見守り、うまくいくように願っています。

(施設長)

ユニットのたより

(四面より)

いを込めて書いてもらいました。「家族が健康でありますように」と、やはり家族への思いが多く、中には「とんかつが食べたい」「お寿司が食べたい」など正直(?)な願いも。

この後、皆で笹竹に短冊や折り紙などを取り付け、あざやかな七夕飾りが完成。それをバックに笑顔いっぱい記念撮影を行いました。

皆さんの願いが叶いますように！
(E・Fユニット M)



賑やかにおやつ作り

Gユニットでは、六月行事としておやつ作り

(パフエ)を行い、賑やかな時間を過ごしました。



今回参加された利用者様のほとんどが女性で、昔取った木根塚とばかりに段取りも良く、テキパキと事を運んでいました。クリームや材料を職員と一緒に作る人、盛り付ける人などスムーズに役割が決まり、「こういうの得意なの!」「昔を思い出すわ!」などおしゃべりも進み、楽しく時間が過ぎていきました。

完成した「パフエ」は皆さんと一緒に美味しく召し上がり、「また作りたいわね!」と早速次の意欲を示しておられました。
(G・Sユニット H)



ユニットのたより

懐かしのボーリング

六月二十二日は「ボーリングの日」という事で、Dユニットではボーリング大会(父の日杯)を開催しました。

今回もユニット自慢の職員による手作りで準備し、ピンはペットボトルで作成。ボールは手に取りやすいものを用意し、実際にプレーをして頂きました。

ボーリングは昭和四十年代に流行し、利用者様世代にとっても大変馴染みのあるレジャーでした。この日も皆様気分十分で、行事の前日から楽しみにされていました。

中でも最年長の利用者様は、普段車椅子を使用していますが「ボールを



投げる時は立ってやるよ!」と張り切ってプレーし、結果は見事に最高得点で優勝しました。「ボーリングなんて、懐かしいね!あの頃を思い出さね」と笑顔で話されていました。他の皆様もそれぞれに昔の感を取り戻すかのように楽しくプレーされていました。

最後に表彰式を行い、全員に表彰状と記念品をプレゼントさせて頂きました。
(Dユニット I)

水ゼリーで涼やかに

B・Cユニットでは、六月の誕生日者のお祝いと共に、手作りおやつレクを行いました。

今回は、はじめとした季節を、さっぱりとしたおやつを提供して口の中から涼やかにと「究極の

(優秀賞)

「花」を題材に想いを色に託して



第一回塗り絵コンテスト (参加者全作品)

「願い届けと七夕行事」

七月に入り、A・S・Sユニットでは、利用者様に季節感を味わって頂きたく、このほど「七夕行事」を実施しました。七夕といえば、織姫と彦星、そして天の川、短冊です。ユニットでは今回、短冊に願い事を書いて頂き、笹に飾りました。

「私は書けないよ」と困っている方には職員が助け舟を、「ご飯が美味しく食べられますように」「早く元気になりましょう」などと気持ちを込めて代筆させて頂きました。職員との気持ちがあわさって想いも倍増ですね!

その短冊を笹の葉に飾ると、織姫と彦星の力で願いが叶えられたり、悪



(奨励賞)

それぞれの「花」を自由に楽しく



初の挑戦者も参加

委員の一言メモ

★コロナ禍の中、相次ぐイベントが中止。仕方なくても寂しいものですが、張っています。つい汗を拭くばかりで忘れがちに。更に暑くなるので、意識して振りたいところ。★秋間梅林の梅を収穫。今年の梅は良いそうです。母に梅酒と梅ジュース作りを依頼。★私は飲む専門です(聡)★四か月ぶりにデイズニー再開!チケットもなかなか買えないので、コロナが落ち着くまでは、テレビでミッキーを見て楽しませよう!

(英)★雨の季節に入り、蒸し暑くジメジメした日々が続きますが体調管理を整えていきましょう(尚)★我が家の猫たちは雨の景色が好きなのか、キャットタワーの最上階で窓から外を眺めている姿をよく見ます(香)★七夕飾りを見ると小学生のころ大きな笹にクラスみんなでお飾り付けをした思い出が蘇ります(美)



(二面へ続く)